

「YŌKOSO! JAPAN WEEKS 2006」における
外国人旅行者への
ユビキタス観光ガイドサービスの実証実験

YOKOSO! JAPAN WEEKS 2006における 外国人旅行者へのユビキタス観光ガイドサービスの実証実験



(1) 実施期間

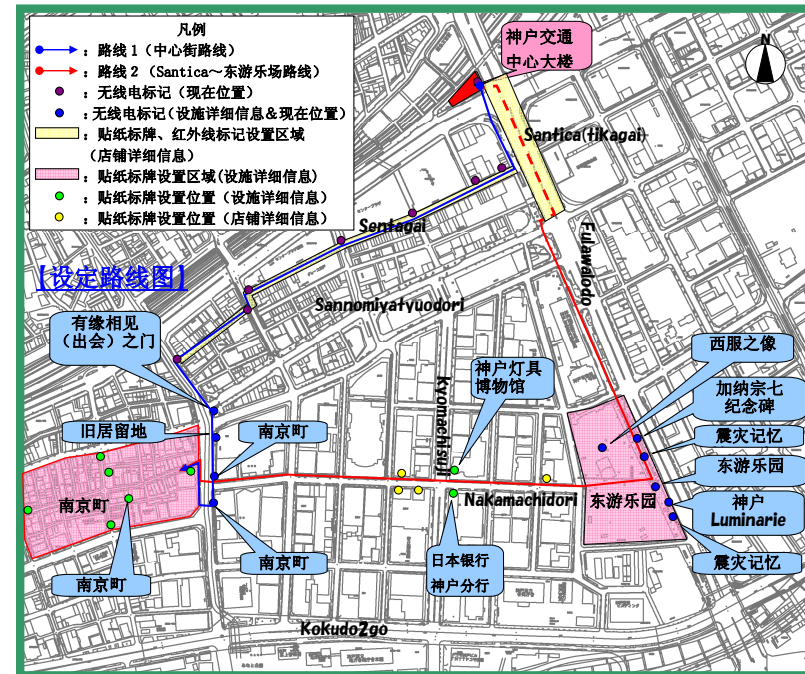
平成18年1月27日(金)～2月28日(火)

(2) 実験対象エリア

兵庫県神戸市三宮近辺(旧居留地周辺)

(3) 実験方法

実験対象エリア内、約210箇所を設置された無線マーカ、ICタグにより、観光情報や施設情報を英語、中国語(簡体字及び繁体字)、韓国語の文字と音声で提供。モニターは設定されたルートをとってサービスを体験



情報提供
イメージ



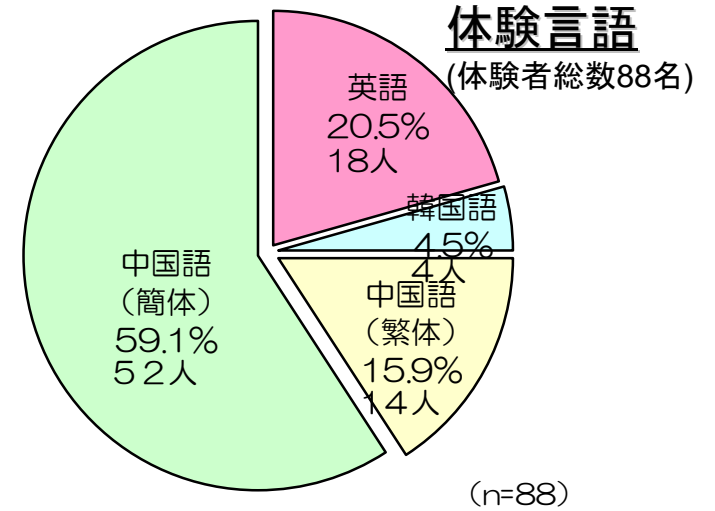
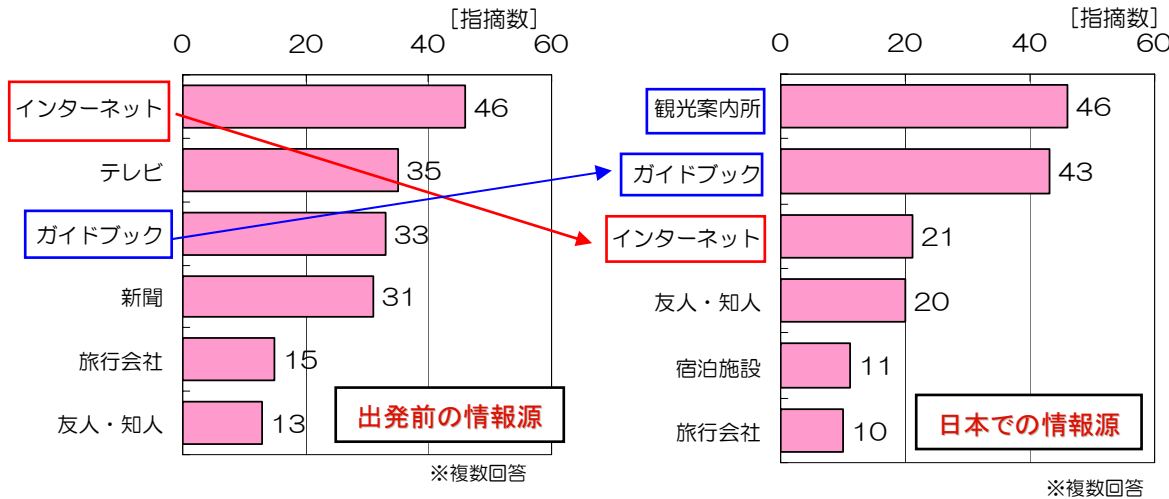


YOKOSO! JAPAN WEEKS 2006における

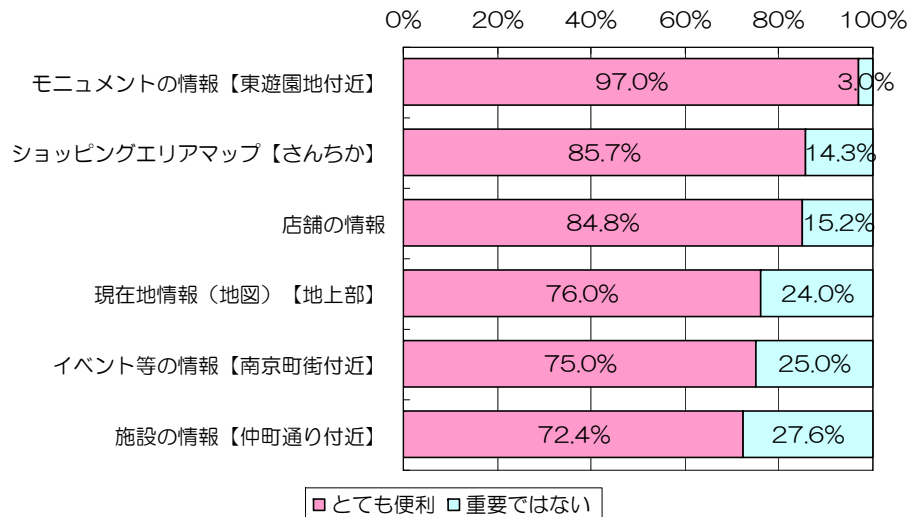
外国人旅行客へのユビキタス観光ガイドサービスの実証実験



インターネットで情報を取得して訪日する人も、
現地ではアナログ情報を使用

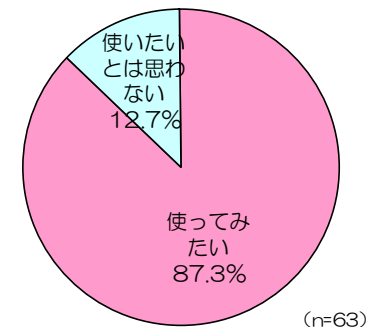


ユビキタスコミュニケーターを用いたガイドサービスは有効であることを示唆



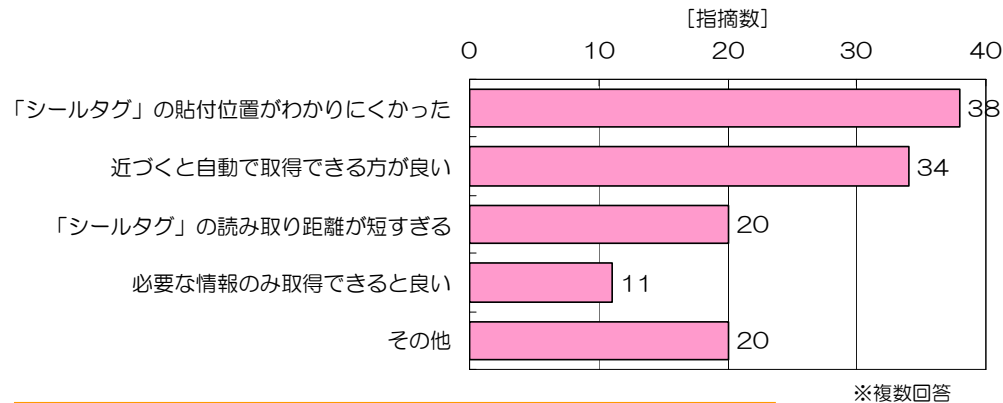
交通等移動手段・地図 : 36人
 飲食店の情報 : 30人
 観光施設・イベント情報 : 27人
 店舗・ショッピング情報 : 26人

どんな情報が入手できると便利

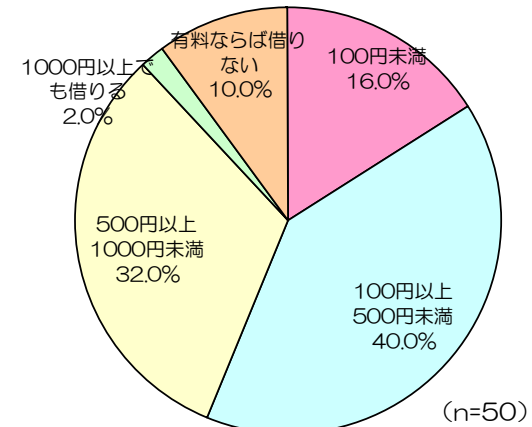




■情報取得方法についての感想



■携帯端末貸出料の支払い意志額



■モニターの主なコメント

○体験して良かったという意見

- 貴重な体験ができ良かった、自分の国でもこのシステムが実現することを願う
- 知らない土地を観光するに良い情報源となり有効

○ユーザの希望

- 店舗情報などは、近づくと自動で情報提供される方が良い
- 機器やシステムの安定性・感度の向上を望む
- ルート検索機能、店舗検索機能があれば便利
- 翻訳機能があれば便利
- 携帯端末機の小型化・軽量化(または携帯電話との一体化)を望む